

## 2 本県における併設型中高一貫教育制度の導入の可能性の検討について

「県立高等学校再編将来構想」(2021年12月公表)の策定にあたり、学校や地域の教育関係者から、都市部や人口減少地域など、それぞれの地域の特性にあった併設型の県立中高一貫校の設置について提案がありました。

こうした提案を踏まえ、全国の公立中高一貫教育の導入事例も参考にしながら、本県における中高一貫教育の導入について、その効果や課題、候補校、開設時期などについて、検討を行ってきました。

検討の結果、本県においても、SSH(スーパーサイエンスハイスクール)事業や、国際理解教育など、特色ある探究的な教育を実践している高校を候補として、その導入の可能性を速やかに検討していきます。具体的には、以下の4校を第一次の導入候補校として、高校の敷地内に、新たに県立附属中学校を併設し、6年間の一貫した教育の導入を行うことが可能かどうか検討していきます。

### (1) 第一次導入候補校 (附属中学校開設の目標時期 2025(令和7)年4月)

地 区	導入候補校	1学年の学級数			現在の高校における特色ある取組
		附属中学校	高 校 (※1)		
			附属中学校から内部進学	高校から入学	
名古屋	明和高等学校 (名古屋市東区)	2学級	普通科2学級	普通科6学級	SSH
			(※2)	音楽科1学級	
尾 張	津島高等学校 (津島市)	2学級	普通科2学級	普通科7学級	国際理解教育
	半田高等学校 (半田市)	2学級	普通科2学級	普通科6学級	SSH
三 河	刈谷高等学校 (刈谷市)	2学級	普通科2学級	普通科8学級	文理融合探究

※1 高校の1学年の学級数(中学からの内部進学者と高校からの入学者の合計学級数)は、2022年度の募集学級数を記載しています。

併設中学校の開校時における高校の募集学級数は、今後検討します。

※2 明和高等学校音楽科への中高一貫教育導入の規模等については、今後検討します。

## (2) 本県における中高一貫教育導入のねらい

本県における中高一貫教育導入のねらいとしては、ゆとりのある計画的・継続的な教育指導と、中学1年生から高校3年生までの異年齢集団による活動を通して、以下のような教育を進めていくことが考えられます。

### 「自分らしさの探究、創造・挑戦」

#### ア 新しい時代のイノベーションを創出する人材の育成

パラダイムシフト<sup>(※)</sup>が進む変化の激しい社会にあっても、様々な課題の解決に向けて創造・挑戦し、新しい世界を切り拓いていくことができる、これからのあいちや日本、世界を担う人材を育成します。

#### イ 知るを楽しみ、自らを高めていく

より深く学びたい、自分の興味・関心を突きつめたいといった、知的好奇心や探究心を引き出し、自ら学び、発展的に考える姿勢や態度を育成することで、一人一人の個性や能力を最大限に伸ばしていきます。

#### ウ 豊かな人間性と社会性の育成（ダイバーシティとSDGsの尊重）

自分の個性に誇りを持つとともに、お互いの個性を尊重し、多様な人々と協働しながら、持続可能な社会づくりに向けて行動できる人材を育成します。

※パラダイムシフト：その時代や分野において当然のことと考えられていた認識や思想、社会全体の価値観などが革命的にもしくは劇的に変化すること。

## 3 中高一貫教育の具体化に向けた検討について

### (1) 検討委員会の設置

「県立高等学校再編将来構想」においては、取組の検証と更なる取組の具体化を協議するために、小中・県立高校関係者による「**県立高等学校再編将来構想具体化検討委員会**」を継続的に設置することとしています。

この委員会（親会議）の下に、部会として、「**中高一貫教育導入検討部会（仮称）**」を設置し、第一次導入候補校における導入の可否及び具体的な枠組、第二次以降の導入の候補となる学校について、検討していきます。また、これからの地域社会を支えていく人材の育成をめざす「**地域密着型**」の中高一貫教育の導入についても検討し、生徒の多様な教育ニーズに応える学校づくりを進めます。

あわせて、別の部会として「**新しい時代に対応した定時制・通信制教育の在り方検討部会（仮称）**」を設置し、中学校の学び直しや外国人生徒への対応等、現代的な教育課題に対応した定時制通信制教育の充実方策についても、同時に検討していきます。

検討に当たっては、必要に応じて、**外部有識者から意見聴取**を行います。

### (2) 今後のスケジュール

2022年 4月 検討委員会と部会を設置

5月～10月 第一次導入候補校における導入の可否、具体化検討、  
中学校の施設整備に向けた準備

11月 「中高一貫教育導入計画（仮称）」案公表、パブリックコメント実施

12月 「中高一貫教育導入計画（仮称）」策定

（協議の進捗状況により、スケジュールは変更することがあります。）